

第4回日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画検討委員会 議事録

日 時 平成22年3月29日(水) 14:00～15:00

場 所 石神井区民事務所第一会議室

出席者 品田委員、藤井委員、前田委員、松下委員、富岡委員、石山委員、大村委員
杉浦委員、石川委員、西條委員、菊池委員、乾委員

(傍聴者)9名

(事務局)練馬区環境まちづくり事業本部土木部公園緑地課 3名

(練馬区関係各課)総務部文化国際課長、総務部施設管理課長

区民生活事業本部産業地域振興部商工観光課長

生涯学習部生涯学習課長、生涯学習部スポーツ振興課長

各課職員

(委託事業者)株式会社LAU公共施設研究所 2名

配布資料

資料1 日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画の策定にむけて 報告書(案)

0.事務局から報告

第2回議事録の公開についてと、第3回と本日の議事録の確認の日程について説明。

1.開会

- ・委員長より開会の挨拶

2.報告書(案)について：事務局

- ・事務局より資料の説明

3. 討議

委員長	<p>これまで委員からの意見をもとに、一緒になって作り上げてきた基本計画への報告になっていると思う。基本的にこれで結構ということであれば、検討委員会の名前でこれを基本計画に対する構想についての報告書として提出することについて、了承という事でよろしいか。</p>
D委員	<p>他のもっと基本的な動線の問題とか、そういうのが先かと思うのでそちらの方の意見があれば先に発言する方がよいかと思うが、私は管理運営に関する文言が、いままでの論議と離れた形で書かれているように思うので、これは後で述べたいと思う。もっと基本的な問題で意見があれば、先に伺いたいと思っている。</p>
委員長	<p>基本計画に関する事で、イメージとして違うというのであれば、意見をほしいと思う。ただ、基本的にはこれでおおよそ方向性としてよいだろうかという事について意見を求めた。具体的な実施設計に関する事については、また別途この後で考えていけばと思っている。</p>
D委員	<p>自然とか全体の施設設計とか動線計画とかそちらの方が重要で、私の言いたい事は、それ程の事ではないが、少し今まで討議されてないことが記述されている。「施設の整備方針」に、「多目的に利用できる公園とすることが必要です」と記載されている。これは、これまでの討議で多様なスポーツ活動、そして文化活動という事で、そうなったと思う。それから、「まち歩き観光の資源としての魅力が高まります」表現的に言うと、「まち歩き観光の資源」という言い方は論理的に変である。そういう言い方はないと思う。これは計画そのものに適否に影響するような事ではないが、ちょっと表現的には普通使わない書き方だと思う。</p> <p>この事を受けるかたちで、「主要施設」という所、その事を具体的に展開するにあたって、「主要施設」の所に「多目的広場」があり、いろいろなものに使える大きな広場がある事について書いている。これも結構である。ここでは、具体的に軟式野球、ターゲットバードゴルフ、多様なスポーツ活動ができる平坦な広場とする。その他、その次に「地域の行事や音楽イベントなども可能な広場とする事が必要です」となっているが、「音楽とかそういうものにも」という話はあったが、「地域の行事等にも使う」ということに対する論議は、この会ではしたことがないように私は思う。どんなものに、この多目的広場を使ってどんなイベントをするのかということのイメージは共有されているとは言えないと思う。ちょっとこの辺は、少しやや先のほうに進んでしまっていると感じた。まったく不適当とは言わないが、この事の論議はしていないと思う。</p> <p>その後にテニスコートとか、木立ちの広場とか、書いてあって、それはよい。最後にクラブハウスが出てくる。クラブハウスの説明はこれで結構と思う。</p>

	<p>私が一番問題にするのは、最後の管理運営計画の運営計画というところだ。「また行きたいと思わせる公園とするためには」となっているが、「また行きたいと思わせる公園」という所の、どこかにその記述があるのかという事で、つまり、ここが「また行きたいと思わせる公園」にしなければいけないのだという命題がどこかにあるのか。これは観光地づくりをしていて、観光施設をつくっているわけではない。もっと区民の方々の確実なニーズがあり、スポーツレクリエーション活動に対応できるようなものを作ろうと言っている。そのような事を言っているはずなのだが、「また行きたいと思わせる公園」という言い方が私には腑に落ちない。何もしなかったら、一過性で来てくれない、だから積極的にここには行きたいと思われるようなものをつくるのだ、というように読める。それで、「そのためには」とはなる。そのためには何が必要かという、「区民や利用者のニーズに即した様々なイベントなどを多様な主体と連携して実施できるような仕組みづくりが必要です」となる。この公園にまた人が来てくれる。何もしないと一過性で来なくなってしまうのだから、継続的に来るようにするためには、常時そういうものをして、魅力あるものをつくっておかなければならないという事になっている。そして「そういう仕組みづくりが必要だ」と。これだと非常に唐突な感じがする。前の時にも、これはクラブハウスの話としては論議があった。クラブハウスの利用について、「クラブハウスを十分活用できるようなイベント、ふるさと文化館と連携しての企画展」というのは、この前の時に、資料で記述され、確かに2回目の委員会でこの論議が出ているが、少しこの辺は事柄が入り組んでいるのではないかと思った。</p>
<p>委員長</p>	<p>今日は最終回になると思うので、今のD委員の意見で具体的に表現をこういう風に変えた方がいいというのであれば、委員にお諮りして、それで今日決めたいと思う。まず、その「観光資源」だが、そのこの所はどういう言葉にかえたらよいか。</p>
<p>D委員</p>	<p>具体的に言うと、前回の資料2には運営計画という所には、この「また」以下の所、「また行きたいと思わせる公園」の記載がまったくない。今回はこれに加えたものだ。これを加えた理由というのが別段の理由があって書いているならよいとも言えるが、これはまた新たに討議しなくてはならない、私は唐突だと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>一般的な表現として、一度だけでなく、また行きたいという所にしたいという発想だったと思う。もしこれが不相当だとすると、どういう風にしたらよいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の委員会のときに、意見として、スポーツ利用が活発にこれまでも行われて来て、今後もそれが一定程度行われ、そういう場として整備していくのだが、出来れば沢山の方々が訪れる公園にしてほしいという意見があったかと思う。なにか目玉としてつくるのもよいのではないかという意見もあっ</p>

	<p>た。これまでの皆さんの意見を総合すると、何かハードで目玉をつくるのではなく、ハードとしては大きく変わるわけではないが、季節に応じて、時に応じていろいろなイベントなり活動がされていることで、区民や訪れる方が楽しめるような公園にしていきたい、ということと理解し、「また行きたいと思わせる公園」という表現とした。日常的な利用とともに、少し遠方からも行ってみたいとか、去年につづき今年も行ってみたいとか、春には行ったけれど、秋にも行ってみたいと思わせるような、という趣旨を加えたいと思っ てくれた表現である。</p>
D委員	<p>私には理解できない。施設の趣旨から言って、そういう必要があるというのは理解できない。非常にニーズの高いスポーツをメインにしているのではなかったか。</p>
委員長	<p>それだけではないだろう。いわゆる都市公園の中に、観光でたまたま入ってくる人がいる。そういう人が来て「また、行きたいと思わせる公園」という表現になったと思う。その事自体私は不適切な表現だとは思わない。違うというのであればどういう風にしたらよいか。</p>
D委員	<p>よくわからないのは、ある部分的な利用の事についての表現が、拡大して全体にかかってしまうのは適当ではない。</p>
委員長	<p>皆様の意見を踏まえすぎて書かれたとしたら、その所はなくてもよい表現ということになるので、「また行きたいと思わせる公園とするためには」という目的を削ってしまってもよいのではという気がする。</p>
K委員	<p>D委員の指摘も踏まえると、「また行きたいと思わせる公園」よりは「多くの方に利用していただく公園とするためには」という表現ではいかがか。</p>
D委員	<p>これを読むと、イベント企画委員会を作れと、とれるので変だと思う。イベントをいつでも検討する仕組みをつくる。イベントも出来るようにしておこうという事であって、イベント広場をつくらうといっているわけではない。多目的なスポーツ公園、中心はスポーツだが、区民のイベント会場にも使えるようにしておこう、ハードな施設を作らないほうがよいだろう、と全体では言っている訳だ。それはその通りだと思う。積極的にイベントをやっていくような事をするというようにみえる。</p>
委員長	<p>これまでの経験で、「とんでもないもの作っちゃって」という経験があったかもしれないが、例えばどんな事が気になるのか。</p>
D委員	<p>どういうことをするのが適当なのかは、今後の運営の問題として、基本計画の問題ではないと思う。基本計画では、そういうものにも道を開いておきましょうという事だけでよい。それをするための仕組みづくりまで基本計画の運営計画に入れなければいけないということはない。これは今後の先の問題ではないか。</p>
委員長	<p>ここの所でイベントうんぬんと言わないほうがいいのかも。ではここの所全部最後まで削除するのはどうか。</p>

D委員	K委員が発言したように、「また」ではなくて、もっと多くの人に使うような事を常に検討する事が必要だということ自体をなんら否定しているのではない。ただ、イベントというのが妙に気になる。今までの議事録から見ていくとそういう所にそういうような意見がもっとあるはずだ。
G委員	あくまでも運動場の跡地だからといってスポーツだけに利用するのが能じゃないというのが出だしたはずだ。したがって、多目的広場・テニスコートあるいは松林の広場、あるいは花と立木ちの広場、クラブハウス、文化の利用もできるようにというのが基本的な考えだったと思う。D委員がおっしゃるようにイベントというのは、すべての運動も含め文化活動というという訳ではなかったか。何にでも使えるような体制を整えるという文言にしてあげれば、それでよろしいのではないか。今ここでストップをかけられると、私は改めてこの後、これはこれとして進めていくにしても、何にもイベントもできなくなってしまうのではないかと感じてしまう。だから多目的広場というのであれば、どんな目的でも使用できるような逃げをつくっておく必要はあるかと思う。
D委員	おっしゃる通りだ。「地域の行事や音楽イベントなども可能な」という表現がしてある。これは適当な表現だと思う。G委員の言うようにこれは賛成だと思っている。
委員長	表現の問題と思う。趣旨は問題ない。「このためには区民や利用者のニーズに即した様々なイベント」「イベント」という言葉がよろしくないというのであれば、「行事等を多様な主体と連携して実施できるような仕組み作りが必要です。」「また、本公園は自然環境の保全に加え、防犯対策、文化芸術資産の管理も考慮し、公園周囲には景観に配慮したフェンスなどを設け、夜間の閉園時は入口を施錠することが必要です。」「ただし、災害時などには区民が避難できるように、石神井中学校の避難拠点運営連絡会と協力体制をつくる必要があります。」「ここになると基本計画よりもずっと実施計画に近くなると思うが、あっても悪い事ではないだろう。念のため入れておくということで書いておいた方がよい。
D委員	こういう基本計画はこれだけで一人歩きをする。ここで言いたいのは、施設整備方針に書いてあるものと管理運営方針と書いてある文言を著しく逸脱したような事は運営計画という所に書いてはいけないという事だ。
委員長	当然そうだ。逸脱しているのか。
D委員	今の「イベントの管理運営の仕組みづくり」は逸脱している。
事務局	よろしいでしょうか。「また行きたい」という所を「そのためには、あるいはこのためには、区民や利用者のニーズに即した様々な行事等を多様な主体と連携して実施できるような仕組みづくりも必要です」という文章でいかがだろう。
D委員	それは範囲の中だと思う。

委員長	そのようにすることで、了解下さい。
D委員	お読みいただく区民も、イベントといういわゆるイベント、つまり商用的な客寄せをイメージするのではないか。主旨と関係なく人が集まればイベント成功だというようなものとしても使う言葉だと思う。そういう言葉はあまり使わない方がよい。
委員長	もう一つ「観光の資源」というのはどうか。
D委員	まち歩き観光の資源というのは表現的には適当な表現ではない。「まち歩き観光」というのは人間の方でやっている行動形態のものを言っている。そういう表現はない。
委員長	「まち歩き観光に役立つ」と直すか。
D委員	結果的に、「まち歩き観光の促進に寄与する」位で、普通の表現にした方がよいと思う。
委員長	<p>それでなんとか文章にまとめ、全体について、いままでの議論と違う、納得いかないという点があれば出してほしい。また、その後の運営の事とか具体的に設計に関わるものであらかじめ提案しておくというのがあれば言ってほしい。</p> <p>まず、よろしければ、今修正した表現の修正案にご了承いただければと思うが、よろしいか。</p> <p>それでは大変何回にもわたって行われましたが、この基本計画の報告について、検討委員会として報告を提出という事で了承いただいたので、区はこれを受けてください。</p> <p>引き続き、いまの報告書に基づき基本設計ができていくことになるが、この実施に向けてはいろいろなレベルのものがあ、委員もこういうものを期待して実施してほしいというのがあ、それについては何でもいいので提案してください。</p>
G委員	なんでもという話ですが。そうなったら、それこそ360度になってしまうので、絞りにくいと思う。検討するにはスポーツ専門ならスポーツ専門部会、あるいは文化部、行事とか多目的に使える広場の使い方なりを検討する部会が必要ではないかと思う。したがって、今ここでなんでもかんでもいったら、混乱してしまうのではないか。
委員長	今後の運営の仕組みづくりについて、中身として専門部会が必要ではないかというご提案か。
G委員	それだけでなくは結論が出てこない。あくまでもここは基本計画の検討委員会なので、今後、そういうものをつくってそれから検討するのがよいと思う。地域だけでなく練馬区のそれぞれの団体で、文化財的な、あるいは音楽とか、視野を広げてあげる見方も必要である。クラブハウスを使って、区役所でやっているミニコンサートのようなものをクラブハウスで行ってもよいのではという考えもあると思う。そういった、知恵を出しあう検討委員会がほしい

	<p>と思う。あれだけの場所だからもったいない。もったいないと思わせるような利用方法をもったいたないようにさせるのが実行委員会の目的だろうと思う。その人選は、やはり皆さんで知恵をだしあってもらう。あるいはそれによって、スポーツ部会・文化部会でもよし、是非そういう方向付けに向かってご検討いただいたことがむしろ基本計画として重要だろうと思う。</p>
委員長	<p>今G委員の言っていることはそうだと思う。要するに基本計画が出来て、それを踏まえて実施的な実行委員会をつくっていく。当然の流れだと思う。もったいない施設だと言われないうために、いろいろな提案を受け入れていく。多少気になるのはあんまり部会で決めてしまうと、部会毎で、例えばどこかこの領域はスポーツ部会でなくてはだめだとなってしまう。</p>
G委員	<p>それはお言葉を返すようですが、それでは私が最初申し上げた通り、「文化」と「スポーツ」という風に3つの計画案があった。それでみればよいのではないか。スポーツならスポーツ、あるいは文化なら文化という風だ。最初の時の資料にあった3つの柱にそって、そんなに細分化する必要はないと思う。</p>
委員長	<p>ただいまの意見は提案という事で、報告書のプラスアルファで、別に付帯条件という訳ではないですが、意見があったと記載する。</p>
G委員	<p>そういう意味で検討していただくのは結構だと思う。</p>
C委員	<p>一つ確認したいのだが、これから基本設計が出来あがって、実施設計を練っていくわけだが、その時に体育館とプールを解体にあたって、発掘することになるのか。体育館を建てる前には発掘はしているのか。</p>
事務局	<p>遺跡の範囲がほとんど端をかすっているところで、プールの部分はそこに該当しない。東側が一部かかっている状況だ。</p>
C委員	<p>発掘調査は基本的にはしなくてよいという事なのか。</p>
K委員	<p>一応、教育委員会の判断が最終的に必要になるが、基本的には、体育館の基礎も作ってしまっているのだから、場合によっては改変されている認定になるかもしれない。</p>
C委員	<p>おそらく基本設計の際のポイントの一つかと思う。今回基本計画の中で、大きな方針が決まっているので、後はそれを具体的に検討していくことになるだろう。また、大きくは既存の建物をどのようにするかというのが非常に大きなメニューだろう。それから後は、駐車場、フェンス、歩道だとか、そういうのが大体主だった施設計画というか基本設計・実施設計の大きな課題かと思う。もう一つ、大きなこの図にありましたように、「自然環境の保全」という大きな枠組みがあって、そのために、どのような事があるのかというのをもう一つ全体を貫く設計にあたっての方針が、基本計画の中で、例えば水源の涵養だとか、既存の植物・樹木の保全だとか、書かれているので、それを具体的に実施設計に移していけるように充分練っていただきたい。</p>
事務局	<p>委員に4回、検討してもらい、報告書をいただいた。今後、これを受けて基本計画をもう一度、区でまとめさせていただく。今後それを区民の方にも</p>

	<p>パブコメ等をしてしながら意見をいただき、最終的に基本計画とする。その後、今度は基本設計を行い、実施設計を行っていくという方向で、物事を進めていこうと考えているので、今いただいた土台を区でこれをいかに実効性のあるものにしていくか、今後まとめていく。</p>
委員長	<p>せっかくできた報告書の主旨を外れないように、仕組みづくりを是非願います。基本的にはこの前C委員から発言があったデザインの基本イメージという事で、「落ち着き、風格、自然、ゆとり」という事が出ているが、そういう事を踏まえてこれから基本設計・実施設計に反映してほしい。</p>
C委員	<p>今発言した点は、どちらからというハードの側面だが、もう一つ、今回の議論の中で重要なのは運営だ。運営についても実施設計に相当するものを次のステップで考えておかなければならない。それがまたハードの設計にも反映していくことがあると思うので、その辺を合わせて二つの側面を実施設計を進めていただきたい。</p>
事務局	<p>今後、施設をつくるだけでは、開放したらこの自然が保たれないというのは、区でも承知している。一方、皆さんに愛される公園づくりというのも区の命題として考えているので、その運営に関しては、区として検討し、どのようなものを作ったらよいか、庁内の中で検討してゆく。必要があれば皆様の力を借りることも考えているので、その時はまたよろしく願います。</p>
委員長	<p>今の話はすべて議事録に載るし、あらためて要点をつまんだものをこれに添付するという形にしたいと思う。その表現については私に任せただけで、わかりやすいように表現して添付したいと思う。最後にK委員から挨拶をどうぞ。</p>
K委員	<p>委員長はじめみなさまの協力により、日本銀行石神井運動場の基本的な部分を本当に精力的に検討いただきありがとうございます。区としましてはこれを最大限尊重しまして、区としての案をつくり、広く区民の皆様に公開してさまざまなご意見を受けたいと思っている。その間に事務局が先程言った通り、基本設計それから実施設計につなげていきたいと考えている。この日本銀行の石神井運動場につきましては、私ども区としても、多くの区民の方の関心も高い場所である。さまざまなご意見を出来るだけ多く吸収しながら、今回検討した基本はあくまで貫くつもりである。</p>

4.閉会